

(43) Date of publication of application: 11.10.02

G06F 17/60

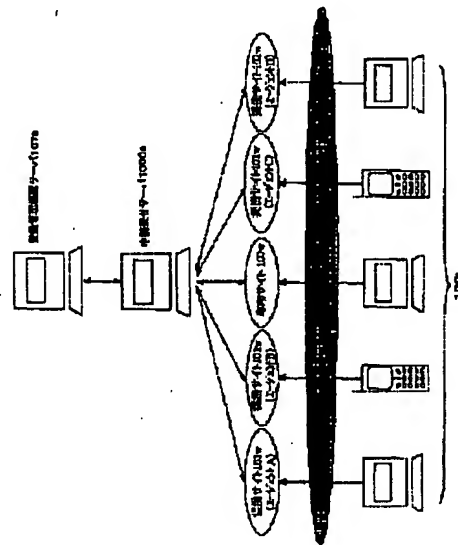
(71) Applicant: **MARK-I INC**

(72) Inventor: SAITO KRYOBUMI

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a registration acceptance and application proxy system for domain name capable of contributing to the spread of 'an all purpose JP domain name', and capable of developing various businesses.

SOLUTION: An exclusive site 100w and a cooperative site 101w are composed of respectively different concepts, and a computer terminal 103t can make access to either site, and can offer registration of the domain name when satisfying a prescribed condition. When offering the registration, an application domain name and registration information sent via an Internet line 400 are intensively controlled by an application accepting server 1000s. Registration application processing is executed between this application accepting server 1000s and a registration control institution server 107s.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-297938

(P2002-297938A)

(43) 公開日 平成14年10月11日 (2002. 10. 11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 4	G 0 6 F 17/60	3 1 4
	Z E C		Z E C
	3 2 6		3 2 6
	3 3 2		3 3 2

審査請求 有 請求項の数10 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2001-97073(P2001-97073)

(22) 出願日 平成13年3月29日 (2001. 3. 29)

(71) 出願人 599115147

株式会社マークアイ

東京都千代田区麹町3丁目5番19号

(72) 発明者 齊藤 清文

東京都千代田区麹町三丁目5番19号 株式

会社マークアイ内

(74) 代理人 100086368

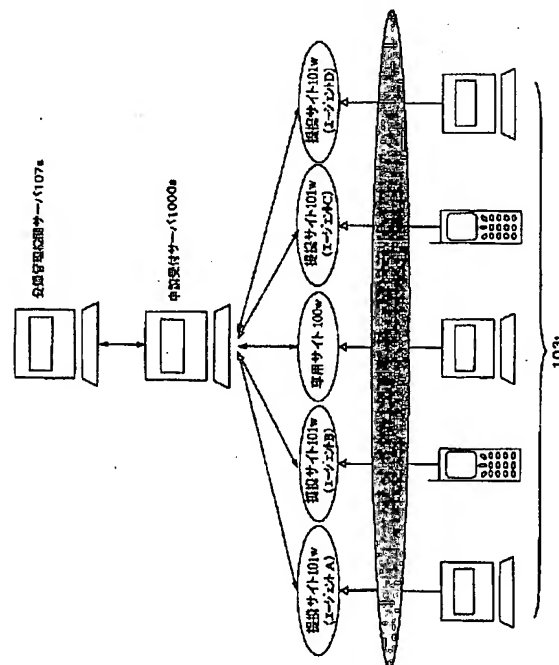
弁理士 萩原 誠

(54) 【発明の名称】 ドメイン名の登録受付及び申請代行システム

(57) 【要約】

【課題】 「汎用J Pドメイン名」の普及に寄与すると共に、様々なビジネス展開を図ることのできるドメイン名の登録受付及び申請代行システムを提供すること。

【解決手段】 専用サイト100w及び携帯サイト101wはそれぞれ異なるコンセプトによって構成されているが、コンピュータ端末103tはいずれのサイトにもアクセス可能であり、所定条件を満たせばドメイン名の登録申込を行うことができる。登録申込の際、インターネット回線400を介して送られてきた申請ドメイン名及び登録情報は申請受付サーバ1000sで集中管理される。そして、この申請受付サーバ1000sと登録管理機関サーバ107sとの間で登録申請処理が行われる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つのウェブサイトを紹介してドメイン名に関する情報を発信し、前記ウェブサイトからドメイン名の登録申込を受け付け、その申請を代行するコンピュータネットワークシステムであり、特定のキャラクター及び／又は前記登録申請に関する情報をネットワーク上に閲覧可能に掲示する手段と、申請者側コンピュータ端末から入力された申請ドメイン名及び登録情報を受信する手段と、前記申請ドメイン名及び前記登録情報に基づいて登録申請処理を実行する手段と、前記登録申請処理及び前記申請ドメイン名のメンテナンスに要する料金を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって前記料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項2】 請求項1に記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記ウェブサイトが申請代行業者によって独自に運営管理される専用サイトであり、前記専用サイトが紹介者コード入力エリアを具備し、前記専用サイトを介して申請者側コンピュータ端末から紹介者コードが入力送出された場合、入力された紹介者コードに対応一致する割引料金を導出する手段と、前記料金と前記割引料金とに基づいて請求金額を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって前記請求料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項3】 請求項1又は請求項2に記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記ウェブサイトが前記申請代行業者と提携エージェントとによって共同運営される提携サイトであった場合、前記提携サイトの識別情報を自動認識する手段と、前記識別情報に対応一致する割引料金を導出する手段と、前記料金と前記割引料金とに基づいて請求金額を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって前記請求料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項4】 請求項1乃至請求項3に記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記申請ドメイン名が所定条件を満たすか否かを判定する手段と、前記所定条件を満たさなかった場合、前記申請ドメイン名の登録申請を拒否する旨の通知情報を前記申請者側コンピュータ端末に送信する手段とを具備したことを特徴

とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項5】 請求項1乃至請求項4のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記登録申請処理の完了した申請者にエビデンスを発行する手段を具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項6】 請求項1乃至請求項5のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記登録申請処理の完了した申請者にポイントを付与する手段を具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項7】 請求項1乃至請求項6のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記登録申請処理の完了した申請者に景品を送送する手段を具備したことを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項8】 請求項1乃至請求項7のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記申請ドメイン名が特定の文字列と当該申請者の指定した文字列との組み合わせであることを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項9】 請求項1乃至請求項8のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記登録申請に関する情報の一部が、前記特定のキャラクター同士による対話形式の文字データ及び／又は音声データで構成されることを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【請求項10】 請求項1乃至請求項9のいずれかに記載のドメイン名の登録受付及び申請代行システムにおいて、前記登録申請に関する情報の一部が、前記特定のキャラクターと仮定の申請者との対話形式の文字データ及び／又は音声データで構成されることを特徴とするドメイン名の登録受付及び申請代行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はドメイン名の登録申請システムに係り、より具体的には、複数のウェブサイトを紹介してドメイン名に関する情報を発信し、各ウェブサイトからドメイン名の登録申込を受け付け、その申請を代行するコンピュータネットワークシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネット上で通信を行うためにはIPアドレスが必要である。しかし、ドメイン名が登録

されていれば、電子メールやブラウザでIPアドレスの代わりにドメイン名を指定することができる。これは、携帯電話の電話帳に氏名を登録しておけば、その氏名を指定して電話をかけられる仕組みと類似している（日本ネットワークインフォメーションセンター編「3時間でわかるドメイン名とIPアドレス」より、1999年12月14日、パシフィコ横浜）。

【0003】ここで、ドメイン名とIPアドレスとを関連付けて管理しているのがDNS（ドメインネームシステム）である。ドメイン名は階層構造を持っているため、このDNSを使用して上位階層から順にたどっていけば、目的のマシンまで行きつくことができるのである。ドメイン名の階層構造を説明するために、従来から使用されている代表的なものとして、co.jpやne.jpなど組織（会社や個人）を識別する文字（co, or, ne等）が含まれる属性形ドメイン名がある。属性形ドメイン名の構成および種類をJPドメインを例にして説明する。

【0004】1. JPドメイン名の構成

<組織ラベル>、<属性ラベル>、jp

<組織ラベル>には以下のような規則がある。

- (i) 3文字以上でなければならない。
- (ii) 英数字、ハイフンからなる文字列である。ただし、ラベルの先頭と末尾の文字はハイフンであってはならない。
- (iii) ラベルの長さは、63文字以下でなければならない。

【0005】2. JPドメイン名の種類

<属性ラベル>はその種類によって以下のような登録資格が必要とされる。ドメイン名の種類は以下に示すもの以外にも多数存在するが、ここでは省略する。

(i) CO・・・株式会社、有限会社、合名会社、合資会社、相互会社、特殊会社、その他の会社および信用金庫、信用組合、外国会社 外国会社の場合には、日本において外国会社の登記を行っていること。

(ii) OR・・・「財団法人、社団法人、医療法人、監査法人、宗教法人、特定非営利活動法人、特殊法人（特殊会社を除く）、農業協同組合、生活協同組合、その他AC、CO、ED、GO、地方公共団体ドメイン名のいずれにも該当しない日本国法に基づいて設立された法人」「国連等の公的な国際機関、外国政府の在日公館、外国政府機関の在日代表部その他の組織、各国地方政府（州政府）等の駐日代表部その他の組織、外国の会社以外の法人の在日支所その他の組織、外国の在日友好・通商・文化交流組織 特殊法人はGOドメイン名とORドメイン名のいずれかを選択することができる」

(iii) NE・・・日本国内のネットワークサービス提供者が、不特定または多数の利用者に対して営利または非営利で提供するネットワークサービス。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上記属性形ドメイン名

を管理する登録管理機関は、この属性形ドメイン名に加え、属性区分の無いドメイン名を新しく導入し、以下に記すような利点を持たせた。これを「汎用JPドメイン名」という。

1. 複数ドメイン名の登録を可能にした。

ドメイン名を複数登録するニーズの急速な高まりにより、汎用JPドメインについては従来のJPドメイン名にみられる「1組織1ドメイン名」の原則を撤廃し、複数のドメイン名を登録可能にした。

2. 登録資格要件が緩和された。

日本に住所を持つ全ての法人・個人に登録資格が認められた。

3. 移転が自由化された。

汎用JPドメイン名では、移転が自由化された。従来のJPドメイン名においては、合併、営業譲渡、親子会社関係など一定の事由の場合を除いて、ドメイン名の移転は禁止されていたが、汎用JPドメイン名では移転（登録名義の変更）に関する制限がなくなった。これは登録後にDRPにおける紛争解決体制が確立されたことによる。

4. 日本語が指定できる。

漢字／全角ひらがな／全角カタカナの日本語を1文字以上含むJPドメイン名を日本語ドメイン名と呼ぶ。従来のアルファベット・数字のみのドメイン名はもとより、日本語のみのドメイン名、アルファベット・数字と日本語の組み合わせによるドメイン名も申請可能となった。

【0007】本発明はキャラクターを利用してインターネットにおけるHPアドレス、ドメイン名の正しい理解、具体的なドメイン名の取得及び利用について多くの人に紹介することを目的とする。そして、これを通じてインターネット社会における情報の受発信の重要性を不特定多数の人に認識してもらうことのできるドメイン名の登録受付及び申請代行システムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明によるドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、少なくとも1つのウェブサイトを経由してドメイン名に関する情報を発信し、上記ウェブサイトからドメイン名の登録申込を受け付け、その申請を代行するコンピュータネットワークシステムであり、特定のキャラクター及び／又は登録申請に関する情報をネットワーク上に閲覧可能に提示する手段と、申請者側コンピュータ端末から入力された申請ドメイン名及び登録情報を受信する手段と、申請ドメイン名及び登録情報に基づいて登録申請処理を実行する手段と、登録申請処理及び申請ドメイン名のメンテナンスに要する料金を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備したことを特徴とする。

【0009】上記ウェブサイトが申請代行業者によって独自に運営管理される専用サイトであり、専用サイトが

紹介者コード入力エリアを具備し、専用サイトを介して申請者側コンピュータ端末から紹介者コードが入力送出された場合、入力された紹介者コードに対応一致する割引料金を導出する手段と、料金と割引料金とに基づいて請求金額を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって請求料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備することができる。

【0010】上記ウェブサイトが申請代行業者と提携エージェントとによって共同運営される提携サイトであった場合、提携サイトの識別情報を自動認識する手段と、識別情報に対応一致する割引料金を導出する手段と、料金と割引料金とに基づいて請求金額を算出する手段と、所定の課金方法にしたがって請求料金に応じた課金処理を実行する手段とを具備することができる。

【0011】上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、申請ドメイン名が所定条件を満たすか否かを判定する手段と、所定条件を満たさなかった場合、申請ドメイン名の登録申請を拒否する旨の通知情報を申請者側コンピュータ端末に送信する手段とを具備することができる。上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、登録申請処理の完了した申請者にエビデンスを発行する手段を具備することができる。上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、登録申請処理の完了した申請者にポイントを付与する手段を具備することができる。

【0012】上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、登録申請処理の完了した申請者に景品を発送する手段を具備することができる。上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、申請ドメイン名を特定の文字列と当該申請者の指定した文字列との組み合わせとすることができる。上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、登録申請に関する情報の一部が、特定のキャラクター同士による対話形式の文字データ及び／又は音声データで構成されるようにすることができる。上記ドメイン名の登録受付及び申請代行システムは、登録申請に関する情報の一部が、特定のキャラクターと仮定の申請者との対話形式の文字データ及び／又は音声データで構成されるようにすることができる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、図1乃至図4を参照して本発明によるドメイン名の登録受付及び申請代行システムの実施の形態を詳細に説明する。図1は本発明の実施の形態の全体構成図、図2乃至図3は本発明の実施の形態を説明するタイムチャート、図4は本発明の実施の形態のネットワーク構成図である。まずはじめに、本発明の実施の形態で用いる語句の説明を行う。

【0014】申請代行業者100；登録管理機関107に対し、申請者に代わってドメイン名の登録申請を行う業者。ドメイン名の申請代行を行うウェブサイトを独自に運営管理する（本実施の形態では専用サイト100w

とする）とともに、提携エージェント101と共同で同機能を有したウェブサイト（本実施の形態では提携サイト101wとする）も運営している。

登録管理機関107；インターネット上で利用されるアドレス資源（IPアドレス、ドメイン名、ポート番号等）の標準化や割当てを行う組織。JPRS（Japan Registry Service）、JPNIC（Japan Network Information Center）、InterNIC（Inter-Network Information Center）等。

【0015】図1に示す申請代行業者100は、申請者103からドメイン名の登録申込があった場合に申請者本人に代わって登録管理機関107に対して登録申請を行うことができる。ドメイン名の登録申請やメンテナンス等にかかる料金は、申請者103の口座から信販会社105bによって直接カード決済されてもよいし、申請者103が当該店舗（図1ではコンビニ105a）に向いて振込をしたのちコンビニ105aから信販会社105bに送金してもよい。なお、上記料金は割引かれる場合があるが、これについては後に詳しく説明する。

【0016】申請者103がドメイン名の登録申込をするときの受付窓口としては以下に示す2通りがある。

- ・専用サイト100wにアクセスし、登録申込する方法
- ・提携サイト101wにアクセスし、登録申込する方法

上記サイト、申請代行業者側／登録管理機関側のサーバ、及び申請者側のコンピュータ端末のネットワーク構成図を図4に示す。申請者103側のコンピュータ端末103tはパーソナルコンピュータのほか、インターネット対応の移动通信端末（PDC、PHS、cdma2000、W-CDMA等、その通信方式は問わない）でもよい。同図において申請受付サーバ1000sは本システムの中核をなすサーバであり、申請者103側のコンピュータ端末103t群及び登録管理機関側のサーバ107sと、インターネット回線網400を介して各種データのやり取りを行う。

【0017】提携サイト101wのURLが申請者103のコンピュータ端末103tによって指定されると、提携サイトサーバ101s内のプログラムが起動し、当該ウェブページ（トップページなど）がコンピュータ端末103tのディスプレイに表示される。図4には、申請代行業者100と4つの提携エージェント101（エージェントA～D）とがそれぞれ共同運営する提携サイト101wを図示した。以降の動作については図2で詳しく説明する。一方、専用サイト100wのURLが申請者103のコンピュータ端末103tによって指定されると、専用サイトサーバ100s内のプログラムが起動し、当該ウェブページ（トップページなど）がコンピュータ端末103tのディスプレイに表示される。以降の動作については図3で詳しく説明する。

【0018】専用サイト100w及び提携サイト101wはそれぞれ異なるコンセプトによって構成されている

が、コンピュータ端末103tはいずれのサイトにもアクセス可能であり、所定条件を満たせばドメイン名の登録申込を行うことができる。登録申込の際、インターネット回線400を介して送られてきた申請ドメイン名及び登録情報は申請受付サーバ1000sで集中管理される。そして、この申請受付サーバ1000sが登録管理機関サーバ107sに対して登録申請に必要なデータを送信する。

【0019】＜提携サイト101wからの登録申込＞申請代行業者100と提携エージェント101とが共同して運営管理する提携サイト101wに申請者103がアクセスし、申請ドメイン名の登録申請処理を完了するまでの手順を図2を参照して説明する。

(1) 申請者103はコンピュータ端末103tを使って提携エージェント101の運営するサイトにアクセスし、同サイト内のドメイン関連情報ページ（提携サイト101w）に遷移する。提携サイト101wではドメイン名に関する各種説明（案内情報201）がなされる。提携サイト101wの具体的な説明は後に詳しく説明する。

(2) 申請者103は提携サイト101w内にある所定の入力エリアに登録申請を希望する申請ドメイン名203を入力する。

【0020】(3) 申請ドメイン名203は申請代行業者100側にある申請受付サーバ1000sに渡される。同サーバ1000sは後述するアクセス経路取得204を行い、申請ドメイン名203が所定条件（公序良俗に反していないか等）を満たしているか否かを判定する（予備審査205）。

(i) 所定条件を満たしている場合には、(4)に進む。

(ii) 所定条件を満たしていない場合には、受付拒否207を通知する文字／画像データを申請者103のコンピュータ端末103tに送出して終了する（208）。申請者103は(2)の操作からやり直してもよいし、そのまま操作を終了してもよい。

【0021】(4) 申請受付サーバ1000sは、登録管理機関107の有する登録管理機関サーバ107sに先願問合せ信号209を送出する。同信号209を受信したサーバ107sは、同一のドメイン名が既に登録申請されているか否かを検索処理を実行する（先願検索211）。なお、本実施の形態では先願検索するためのデータベースを登録管理機関側のサーバ107sに具備した場合の説明をするが、同データベースを申請受付サーバ1000sに具備することも可能であり、その場合には申請受付サーバ1000s内で先願検索211を実行する。先願検索211の結果、検索一致するものがあれば「先願有り」の旨を通知する信号213をサーバ1000sに送出する。検索一致するものがなければ「先願無し」の旨を通知する信号213をサ

ーバ1000sに送出する。

【0022】(5) 信号213を受信した申請受付サーバ1000sは、「先願有り」の旨を通知する信号215、又は「先願無し」の旨を通知する信号217を申請者側コンピュータ端末103tに送出する。

(6) コンピュータ端末103tに「先願有り」の旨を通知する信号215が送出された場合にはその旨を通知して終了する（218）。申請者103は(2)の操作からやり直してもよいし、そのまま操作を終了してもよい。「先願無し」の旨を通知する信号217が送出された場合には、(7)に進む。

(7) 申請者103が既に会員IDを持っている場合（2回目以降の登録申請の場合）には所定の入力エリアに会員IDを入力し、(8)に進む。申請者103が会員IDを持っていない場合（初めての登録申請の場合）には申請者情報219を送出したのち(8)に進む。申請者情報219の具体例を以下に示す。

- ・申請者名（組織名、個人名等）
- ・郵便番号
- ・住所（都道府県、市町村、番地、建物名等）
- ・連絡先（電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等）

・次回から使用する会員ID

“次回から使用する会員ID”が承認された場合は、当該会員ID221が改めて申請者103のコンピュータ端末103tに送出される。

【0023】(8) コンピュータ端末103tは決済情報223を申請受付サーバ1000sに送出する。決済情報223の具体例を以下に示す。

- ・カードの種類
- ・カード番号
- ・当該カードの有効期限
- ・カード名義人の氏名
- ・カード名義人の住所（都道府県、市町村、番地、建物名等）
- ・連絡先（電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等）

【0024】(9) 申請受付サーバ1000sは、申請者情報219（又は会員ID）及び決済情報223の受信後、申請受付完了メール（受付完了通知225）を申請者側端末103tに送信する。さらに、申請者情報219（又は会員ID）及び決済情報223に基づいて代行申請用データ227を作成し、登録管理機関サーバ107sに送信する。

(10) 登録管理機関107sにおいて当該ドメイン名の登録を許可するか否かを審査したのち（最終審査229）、その審査結果231aを申請受付サーバ1000sに通知する。申請受付サーバ1000sに通知された審査結果231aは、さらに提携サイトサーバ101sに送信され、最終的にコンピュータ端末103tに通知

される。

【0025】＜専用サイト100wからの登録申込＞申請代行業者100が独自に運営管理する専用サイト100wに申請者103がアクセスし、申請ドメイン名の登録申請処理を完了するまでの手順を図3を参照して説明する。

(1) 申請者103はコンピュータ端末103tを使って申請代行業者100の運営する専用サイト100wにアクセスする。専用サイト100wではドメイン名に関する各種説明(案内情報301)がなされる。

(2) 申請者103は専用サイト100w内にある所定の入力エリアに登録申請を希望する申請ドメイン名303を入力する。

(3) 申請ドメイン名303は申請代行業者100側にある申請受付サーバ1000sに渡され、同サーバ1000sによって所定条件(公序良俗に反していないか等)を満たしているか否かが判定される(予備審査305)。

(i) 所定条件を満たしている場合には、(4)に進む。

(ii) 所定条件を満たしていない場合には、受付拒否307を通知する文字/画像データを申請者103のコンピュータ端末103tに送出して終了する(308)。申請者103は(2)の操作からやり直してもよいし、そのまま操作を終了してもよい。

【0026】(4) 申請受付サーバ1000sは、登録管理機関107の有する登録管理機関サーバ107sに先願問合せ信号309を送出する。同信号309を受信したサーバ107sは、同一のドメイン名が既に登録申請されているか否かを検索処理を実行する(先願検索311)。なお、本実施の形態では先願検索するためのデータベースを登録管理機関側のサーバ107sに具備した場合の説明をするが、同データベースを申請受付サーバ1000sに具備することも可能であり、その場合には申請受付サーバ1000s内で先願検索311を実行する。先願検索311の結果、検索一致するものがあれば「先願有り」の旨を通知する信号313をサーバ1000sに送出する。検索一致するものがなければ「先願無し」の旨を通知する信号313をサーバ1000sに送出する。

【0027】(5) 信号313を受信した申請受付サーバ1000sは、「先願有り」の旨を通知する信号315、又は「先願無し」の旨を通知する信号317を申請者側コンピュータ端末103tに送出する。

(6) コンピュータ端末103tに「先願有り」の旨を通知する信号315が送出された場合にはその旨を通知して終了する(318)。申請者103は(2)の操作からやり直してもよいし、そのまま操作を終了してもよい。「先願無し」の旨を通知する信号317が送出され

た場合には、(7)に進む。

【0028】(7) 申請者103が既に会員IDを持っている場合(2回目以降の登録申請の場合)には所定の入力エリアに会員IDを入力し、(8)に進む。申請者103が会員IDを持っていない場合(初めての登録申請の場合)には申請者情報319を送出したのち(8)に進む。申請者情報319の具体例を以下に示す。

- ・申請者名(組織名、個人名等)
- ・郵便番号
- ・住所(都道府県、市町村、番地、建物名等)
- ・連絡先(電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等)

・次回から使用する会員ID

“次回から使用する会員ID”が承認された場合は、当該会員ID221が改

めて申請者103のコンピュータ端末103tに送出される。

【0029】(8) 申請者103が後述する紹介者コードを有している場合には、当該紹介者コード320を入力して(9)に進む。紹介者コードを有していない場合にはそのまま(9)に進む。

(9) コンピュータ端末103tは決済情報323を申請受付サーバ1000sに送出する。決済情報323の具体例を以下に示す。

- ・カードの種類
- ・カード番号
- ・当該カードの有効期限
- ・カード名義人の氏名
- ・カード名義人の住所(都道府県、市町村、番地、建物名等)
- ・連絡先(電話番号、FAX番号、電子メールアドレス等)

【0030】(10) 申請受付サーバ1000sは申請者情報319(又は会員ID)、決済情報323、及び/又は紹介者コード320の受信後、申請受付完了メール(受付完了通知325)を申請者側端末103tに送信する。さらに、申請者情報319(又は会員ID)及び決済情報323に基づいて代行申請用データ327を作成し、登録管理機関サーバ107sに送信する。

(11) 登録管理機関107sにおいて当該ドメイン名の登録を許可するか否かを審査したのち(最終審査329)、その審査結果331aを申請受付サーバ1000sに通知する。申請受付サーバ1000sに通知された審査結果331aは、さらに専用サイトサーバ100sに送信され、最終的にコンピュータ端末103tに通知される。

【0031】＜提携サイト101wの具体的な説明＞申請代行業者100は複数の提携エージェント101と提携することができ、それに伴い提携サイト101wも複数設けられる。ここでは、複数ある提携サイト101w

のうち代表的なものを例にあげて説明する。

【0032】①特定のキャラクターを起用した提携サイト

ドメイン名について、特定のキャラクターが初心者でも理解可能な程度に説明する画像情報が表示される。この画像は動画画像であってもよいし、複数の静止画像が画面に応じて切り替わってもよい。また、上記ドメイン名についての説明をテーマ別に分け、「他のキャラクター」又は「申請者103自身」との対話形式・質問形式でストーリーを展開させることができる。なお、説明は「文字による説明」でも「音声ガイダンス」でもよい。提携サイト101w内で取り扱うテーマの具体例を以下に列挙する。

- (1) ドメイン名の定義
- (2) ドメイン名の必要性
- (3) ドメイン名として好ましいもの
- (4) ドメイン名登録後の運用方法
- (5) ドメイン名の保護
- (6) ドメイン名の将来像
- (7) ドメイン名に関連する各種サービス。

【0033】②特定の文字列と組み合わせた申請ドメイン名を受付ける提携サイト

特定の事物・事象（例えば、カリスマ性のある人）に関連した文字列（ここではABCとする）と、申請者103の指定した文字列（ここでは○○○○とする）とによって構成される申請ドメイン名を受付けるサイト。申請ドメイン名の一例を以下に示す。

- (1) ABC○○○
- (2) ○○○ABC
- (3) ○○○ABC○○○
- (4) ABC○○ODEF

【0034】③アクセス経路取得（図2の204）

申請受付サーバ1000sは申請者103のコンピュータ端末103tが、どの提携サイト101wからアクセスしてきたのか、アクセス元の提携サイト101wの識別情報を自動認識する。この識別情報は提携サイト101wのURI（例えば、URL）のほか、当該提携サイト101wを一意的に示す情報であればよい。

【0035】＜割引料金に関する具体的な説明＞

①専用サイト100wにアクセスし、登録申込する場合
専用サイト100wには「紹介者コード入力エリア」を設けることができる（必ずしも設ける必要はない）。同入力エリアに当該紹介者コードが入力され、申請受付サーバ1000sに送出された場合、登録申請処理及び申請ドメイン名のメンテナンスに要する料金等「正規の料金」から「所定の割引料金」を差し引いたものが、申請代行業者100から申請者103への請求金額とされる。

【0036】②提携サイト101wにアクセスし、登録申込する場合

申請者103が提携サイト101wからアクセスしてきた場合には、申請受付サーバ1000sは当該提携サイト101wの識別情報を自動認識する。認識された識別情報に基づいて「割引料金」が導出され、登録申請処理及び申請ドメイン名のメンテナンスに要する料金等「正規の料金」からこの割引料金を差し引いたものを、申請代行業者100から申請者103への請求金額とする。

③割引料金の設定

割引料金は「紹介者コード毎」「提携サイトの識別情報毎」に異なるように、料金体系を設定することができる。

【0037】＜予備審査に関する具体的な説明＞予備審査では「一般秩序的な見地」「商標的な見地」の一方又は双方から申請ドメイン名の審査を行い、これに反すれば受付を拒否することを特徴とする。「一般秩序的な見地」から拒否される申請ドメイン名の例を列挙する。

- ・公序良俗に反する言葉を使用したドメイン名
- ・放送禁止用語を使用したドメイン名

「商標的な見地」から申請ドメイン名を審査する理由は、ドメイン名と商標とに関する紛争が近年増加しており、「悪意を持って特定の商標に関するドメイン名を登録するサイバースクワッティング」や「特定の商標に関するドメイン名を悪意を持って取り上げるリバースドメインネームハイジャッキング」等の問題が深刻化してきているためである。なお、予備審査の審査基準は提携サイト101w毎のポリシーに基づいて各サイトで決定することができる。

【0038】＜特許庁HPとのリンク＞なお、「商標的な見地」から申請者103自身にも申請ドメイン名のチェックを行わせるためのガイド策として、専用サイト100wや提携サイト101wに特許庁ホームページへリンクするための記述を行うことも可能である。

＜エビデンス／ポイント／景品＞登録管理機関107での最終的な審査（図2の229、図3の321）が完了し、申請ドメイン名が正式に割当てられると、申請者103に対して下記1）～3）に示すようなことが行われる。

- 1) 提携エージェント101（又は申請代行業者100）より申請者103に対してエビデンス（会員証、認定証など）が発行される。
- 2) 提携エージェント101（又は申請代行業者100）より申請者103に対してポイント（例えば、その積算数に応じて景品と引き換えることのできるポイント）が付与される。
- 3) 提携エージェント101（又は申請代行業者100）より申請者103に対して景品や記念品が贈られる。

【0039】

【発明の効果】このように、本発明によればドメイン名の普及を促進することができる。また、本発明によれば

ドメイン名の登録申請を専門とする会社と、専門でない会社とが組んでそれぞれの特徴を生かしたプロモーションをすることができ、両者の強力なパートナーシップを築くことができる。また、本発明によれば、上記の「専門でない会社」による独立した運営を可能とする。また、本発明によれば、ウェブサイト毎に別々のシステムを構築する必要がないため「廉価でのシステム開発」、「短期間の運営」が可能となる。また、本発明によれば、登録できるドメイン名を提携サイト毎のポリシーによって決定することができる。また、本発明によれば、提携サイト毎の複雑な料金体系にも対応することができる。

【0040】また、本発明によれば、ドメイン名の「取得」「利用」に対する正しい理解を得ることのできるドメイン名の登録受付及び申請代行システムを提供することができる。また、本発明のドメイン名の登録受付及び申請代行システムでは公序良俗に反するような言葉の受付を規制しているため、親が安心して子供に使用させることのできるドメイン名を普及させることができる。また、本発明によれば、特定のウェブサイトでドメイン名を取得した申請者同士でネットワークを形成することに

より、そのネットワークを利用した新たな企画を運営したり、そのネットワーク内で様々な情報を共有したりすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を説明する全体構成図。

【図2】本発明の実施の形態を説明するタイムチャート。

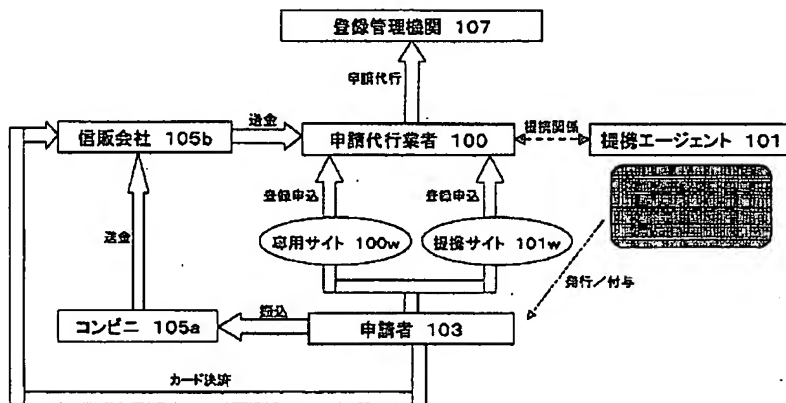
【図3】本発明の実施の形態を説明するタイムチャート。

【図4】本発明の実施の形態を説明するネットワーク構成図。

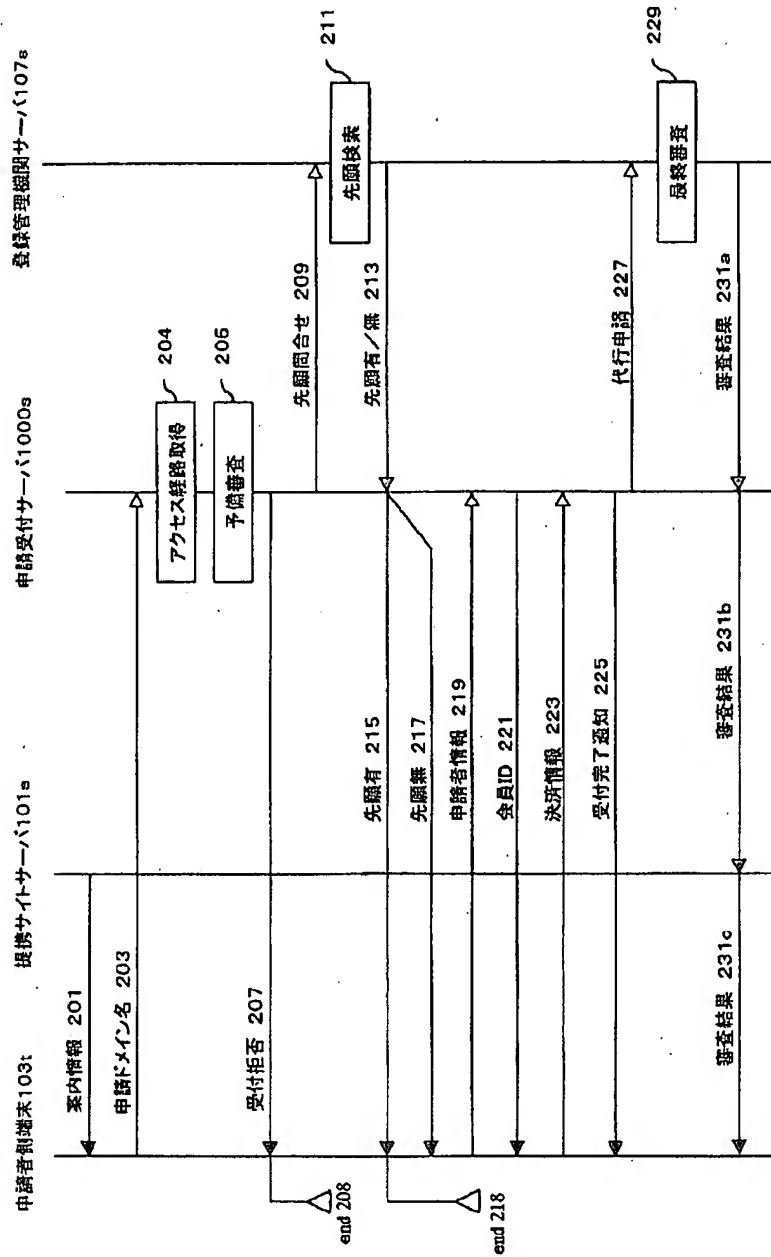
【符号の説明】

100	申請代行業者
101	提携エージェント
103	申請者
107	登録管理機関
1000s	申請受付サーバ
101w	提携サイト
100w	専用サイト
103t	申請者側コンピュータ端末
107s	登録管理機関側サーバ

【図1】



【図2】



【図4】

